



やつぼ ともひろ
矢壺智洋さん

1975年生まれ。浜松市出身。京都の大学を卒業後、浜松の印刷会社に就職。デザイナーとして独立後、2004年に粘土を使った立体イラスト・アニメーション制作工房「ウォルナッツ・クレイワークスタジオ」を設立。幼児教育教材などの図書から、企業広告プロモーション、TVCM、アニメーションまで幅広く手掛け、トータルデザイン、造形、撮影、編集の全てを自らの手で行う。浜松を拠点に活躍の場を国内外に広げている。
<https://walnuts-studio.com>
2019年浜松市教育文化奨励賞
浜松ゆかりの芸術家を受賞

粘土を使って、どんなものでも自由自在に創作できるクレイアート。
浜松在住の矢壺さんは、いま世界で最も注目を浴びているクレイアート作家の一人。
有名キャラクターから大人気ゲームの制作まで、国内外で幅広い活動を展開している。



© SANRIO CO.,LTD.



© Disney

リアルもバーチャルも自由自在。
粘土をこねて創り出す壮大な世界観

新しい仕事に挑戦するのは
今でも怖い。だから努力を重ねる。
良い作品を作るために
尽力するだけです。



—— 矢壺さんは、坂口博信氏の最新作ゲーム「テラウォーズ」にクレイアーティストとして参加されたそうですね。このゲームは全てのビジュアルがクレイアート、ジョラマ、クレイアニメーションで構成されていて、矢壺さんは制作物の色調や雰囲気など、ディテールに至るまで任されたと聞いています。たとえばゲームのキャラクターはどのように生まれてくるのですか。

自分の趣味・嗜好でキャラクターを制作することはありません。作品の持つ世界観やイメージ、制作チームの情熱を大切にして、それを形にしているだけです。

—— そもそもクレイアートの仕事を始めたきっかけは？

印刷会社を辞めて広告デザイナーとして独立したときは、正直言って自信がありませんでした。とはいえ、世の中そんな甘いものじゃない。仕事を求めるには、何か他の人ができないことをしなければダメだと思い、イラストは誰でも描けるから、立体的なクレイアートをやろうと思いい立ちました。

—— クレイアートに目をつけた理由は何？

以前からロシアのクレイアニメーションが好きだったからです。ロシアやチェコのアニメーションって、



中学校の社会科の問題集の表紙に使われている立体イラストレーションの制作も担当。



矢壺さんが制作に参加した話題のゲーム「テラウォーズ」。QRコードからアプリをダウンロードしよう!
<https://www.terra-wars.com/jp/>

その舞台が世界であっても、教育現場であっても同じです。実は最近、静岡県立大学の教授と浜松市の幼稚

「**今後の目標を教えてください。**」
 ずっと挑戦していきたいです。目標を定めずに、どこまでも行きたいと考えています。人種や国に関係なく、自分を必要としてくれる人へ作品を通して応えるだけですし、これからのことです。

園と共同で「幼児期における粘土教育」について研究を始めました。粘土は感覚に任せて手で握るだけでカンタンに形を作れるので、子どもたちの初歩的な創造力と表現力、発信力の育成に役立ちます。とても時間がかかる研究ですが、将来、この指導法を多くの保育士さんや親御さんに提供できるように努力しています。

僕がクレイアートに出会えたように、未来ある子どもたちにとって、何らかのきっかけとして関わる事ができるのならば、それは素晴らしいことだと思います。

「**ご自身の高校生時代にはどんな思い出がありますか。**」
 浜松商業高校は素晴らしい学校でしたが、正直、僕は楽しい思い出を作ることができませんでした。目標や情熱をかけられるものが見つからず、自分は何を指したいのかと自問自答の毎日でした。でも、今思えば何もなかった時期って大事だと思っていますね。当時の悔しさがバネになって、今があると思うから。

何もなかった高校生活。 そんな時代があったからこそ 今の自分がここにいる。

「**クレイアートは独学で学んだのですか。**」
 そうです。知識も経験もゼロで、何をしたらいいかわからないから、最初の頃の作品はひどいものでしたよ。もし皆さんが今いきなりクレイアートを作ったとしても、たぶん当時の自分の方が下手くそです(笑)。

「**それが世界に認められるまでになったというのはすごいですね。**」
 努力は計り知れないほどしてきました。ただ努力は必ずしも結果につながるとは限らないので、正直、運

よく人形が使われるんですが、ぎこちない人形の動きに愛くるしさや人の温もりを感じたんです。そこからインスピレーションを得て、クレイアートを始めました。

「**国内外で活躍しながらも浜松を拠点にし続けている理由は何ですか。**」
 現在、「専門学校浜松デザインカレッジ」でイラストレーション講師をしているのが大きいですね。学生に伝えられることがある限りは浜松にいたいと考えています。それに、今は世界中のクライアントとインターネットを介して仕事ができるので、どこにいても大して問題はないです。



粘土細工を楽しく体験できる、子ども向け粘土教室の開催に協力することも。



©Peanuts Worldwide LLC



©SANRIO CO.,LTD.